

令和2年度

北区「特色ある区づくり事業(案)」の提案について
(事業別)

(令和元年12月19日 資料)

令和2年度 北区「特色ある区づくり事業計画書」目次（令和元年12月19日現在）

番号	事業名	担当課	新規 継続	H30決算額	R元予算額	R2予定額	掲載 ページ
■豊かな自然と共生するまち							
1	北区水辺環境フィーチャリング事業	区民生活課	新規	－	－	200万円	1・2
2	海辺の森共創参画推進事業	産業振興課	継続	－	350万円	390万円	3・4
3	「松浜海岸の環境整備と地域活性化」事業	建設課	継続	250万円	340万円	300万円	5・6
■都市機能が充実したまち							
4	北区賑わいづくり事業	地域総務課	継続	－	100万円	100万円	7・8
■活力ある産業のまち							
5	地域商業にぎわい創生プロジェクト	産業振興課	新規	－	－	160万円	9・10
6	魅力発信キタクなるプロジェクト	産業振興課	継続	－	300万円	300万円	11・12
7	「次世代農業」推進事業	産業振興課	継続	100万円	100万円	100万円	13・14
■学びあい、健康で、人にやさしいまち							
8	夏休み公共施設利用促進事業	地域総務課	新規	－	－	220万円	15・16
9	木崎村小作争議100周年事業	地域総務課	新規	－	－	30万円	17・18
10	北区子育て応援事業	健康福祉課	新規	－	－	240万円	19・20
11	北区もの忘れ検診	健康福祉課	新規	－	－	80万円	21・22
12	大学生による家庭介護セミナー	健康福祉課	新規	－	－	30万円	23・24
13	地域「ひと・まち」パートナーシップ支援事業	地域総務課	継続	－	160万円	160万円	25・26
14	介護予防のための専門職派遣事業	健康福祉課	継続	51万円	80万円	80万円	27・28
15	北区総合スポーツ事業	産業振興課	継続	142万円	150万円	150万円	29・30
■安心安全で暮らしやすいまち							
16	地域防災ひとつくり	地域総務課	継続	－	60万円	60万円	31・32
区 企 画 事 業 計						2,600万円	
1	北区交通マップ作成	地域づくり部会		－	－	80万円	33
2	福祉教育部会だより発行	福祉教育部会		－	－	70万円	34
3	福島潟賑わい創出	自然文化部会		－	－	150万円	35
自 治 協 提 案 事 業 計						300万円	
令和2年度 特色ある区づくり事業 合計						2,900万円	

特色ある区づくり事業計画書(その1)

事業名	北区水辺環境フィーチャリング事業		
事業の取組み	<input type="checkbox"/> 区独自の課題解決に向けた取組み <input checked="" type="checkbox"/> 区其自然・風土を生かした取組み <input type="checkbox"/> 区民との協働を目指した取組み	<input type="checkbox"/> 区伝統・文化など区が持つ魅力や特性を生かした取組み <input checked="" type="checkbox"/> 区民と協働による取組み	
区ビジョン	<input checked="" type="checkbox"/> 豊かな自然と共生するまち <input type="checkbox"/> 学びあい、健康で、人にやさしいまち	<input type="checkbox"/> 都市機能が充実したまち <input type="checkbox"/> 安心安全で暮らしやすいまち	<input type="checkbox"/> 活力ある産業のまち <input type="checkbox"/> その他()
事業期間	令和2年4月1日 ~ 令和5年3月31日		
担当所属	北区区民生活課		
現状・課題・ニーズ (事業実施の前提)	<p>北区の阿賀野川右岸には、海流や風などによって運ばれてきた土砂が河口を閉じ込めてできたひょうたん池、かつて蛇行する阿賀野川の一部だった十二瀧があり、河川や海流によってもたらされた古来からの大きな自然の動きを、その水辺の存在自体から感じることができる。</p> <p>水辺が形成された歴史や、様々な動植物が生息している水辺の魅力が、区内外に十分に発信されていない現状である。外来植物や雑草が希少植物の生態を脅かしている。</p>		
目的 (何のために)	水辺の環境を保全する活動を区民と協働で実施し、さらに瀧や池が環境教育や自然体験の場、自主的な地域づくりの場、ふれあいと憩いの場となるよう、水辺環境づくりを推進する。		
手段 (どのようなやり方で)	<ol style="list-style-type: none"> 1 希少植物の保護と異常発生植物等の駆除 (・ひょうたん池のヨシの駆除・十二瀧のヒシ、ヨシの駆除) 2 自然観察体験会 3 清掃美化活動 		
期待される事業効果 (目的に対して)	<p>水辺環境及び希少動植物の保全が図られる。</p> <p>観察会、体験会を通して、水辺の自然や歴史と、その魅力を区内外に発信するとともに後世に繋いでいける。</p> <p>環境保全活動が将来にわたって長く継続されることが期待できる。</p>		

特色ある区づくり事業計画書(その2)

実施年度	令和2年度(1年目)	令和3年度(2年目)	令和4年度(3年目)
事業費	2,000,000円(予算額)	2,000,000円(予定額)	2,000,000円(予定額)
計画内容 (手段に対して)	1 異常発生植物等の駆除 ・ひょうたん池のヨシの駆除 ・十二瀧のヒシ, ヨシの駆除 2 観察会・勉強会の実施 ・観察場所の環境づくり 3 環境保全活動 ・清掃活動	同左	同左
3カ年の 予定総事業費	6,000千円		
<参考> 区づくり事業 終了後の予定	事業終了後は地区コミュニティ協議会や地元団体等が継続して実施		

特色ある区づくり事業計画書(その1)

事業名	海辺の森共創参画推進事業		
事業の取組み	<input type="checkbox"/> 区独自の課題解決に向けた取組み <input checked="" type="checkbox"/> 区其自然・風土を生かした取組み <input type="checkbox"/> 区民との協働を目指した取組み	<input type="checkbox"/> 区の伝統・文化など区が持つ魅力や特性を生かした取組み <input checked="" type="checkbox"/> 区民と協働による取組み	
区ビジョン	<input checked="" type="checkbox"/> 豊かな自然と共生するまち <input type="checkbox"/> 学びあい、健康で、人にやさしいまち	<input type="checkbox"/> 都市機能が充実したまち <input type="checkbox"/> 安心安全で暮らしやすいまち	<input type="checkbox"/> 活力ある産業のまち <input type="checkbox"/> その他()
事業期間	平成31年4月1日 ~ 令和4年3月31日		
担当所属	北区 産業振興課		
現状・課題・ニーズ (事業実施の前提)	<ul style="list-style-type: none"> ・海辺の森は松くい虫被害や維持管理作業の担い手不足により荒廃が進んでいる。 ・平成27年度から、北区海岸林保全計画に基づき、国県補助金を活用し植栽工事を実施した。それにより、守るべき(保全する)森が増加したため、地元住民による自主的な保全活動が急務となる。 ・地元では保全活動資金の充実のためコミュニティビジネス(以下「CB」という)を成立させ、費用の捻出を試みている。 ・地元の人手不足を補うため、北区で開発した草刈ロボットを活用する。 ・保健保安林である海辺の森の活用による交流人口の拡大が地元や指定管理者、市の共通課題となっている。 		
目的 (何のために)	美しい海辺の森を後世に引き継ぐため、地元の自発的な保全活動に対する様々な活動を支援する。		
手段 (どのようなやり方で)	<ul style="list-style-type: none"> ・海辺の森の保全活動を地元の住民やボランティア団体、大学などと連携した保全活動にするため任意団体に支援をし、持続可能な体制を構築するためのアイデアや手法を、任意団体と地元住民共に協働で検討していく。 ・保全活動の資金不足解消のため、地元のCB活動を支援する。 ・草刈ロボットを活用していく。 ・有識者(アドバイザー)を招いて、地元や指定管理者、市による勉強会を開催する。 ・緑の環境プラン大賞(第一生命財団)を受賞した指定管理者提案の森づくりを軸とする、新たな地域・学校・官の連携事業を支援する。 		
期待される事業効果 (目的に対して)	地域主体の取り組みが増えることによって地域の活性化に寄与する		

特色ある区づくり事業計画書(その2)

実施年度	平成31年度(1年目)	令和2年度(2年目)	令和3年度(3年目)
事業費	3,500,000円(予算額)	3,900,000円(予定額)	3,900,000円(予定額)
計画内容 (手段に対して)	<p>1. 海辺の森協議会への活動支援(800,000円)</p> <p>(1)保全活動 (2)植栽活動 (3)森林保護PR活動</p> <p>2. 幼木植栽地等の保全活動(600,000円)</p> <p>(1)海辺の森全体ニセアカシアの枯殺 (2)草刈ロボット活用</p> <p>3. コミュニティビジネスへの活動支援(800,000円)</p> <p>(1)側面支援(補助金) (2)先進地視察</p> <p>4. 海辺の森交流人口拡大活動(1,300,000円)</p> <p>(1)コンサルタント委託 (2)アドバイザー謝礼</p>	<p>1. 海辺の森協議会への活動支援(800,000円)</p> <p>(1)保全活動 (2)植栽活動 (3)森林保護PR活動 (4)組織編成検討</p> <p>2. 幼木植栽地等の保全活動(250,000円)</p> <p>(1)草刈ロボット活用</p> <p>3. コミュニティビジネスへの活動支援(622,000円)</p> <p>(1)側面支援(補助金) (2)先進地視察</p> <p>4. 海辺の森交流人口拡大活動(1,228,000円)</p> <p>(1)コンサルタント委託 (2)アドバイザー謝礼</p> <p>5. 地・学・官連携事業(1,000,000円)</p> <p>(1)植栽活動 (2)連携事務支援委託</p>	<p>1. 海辺の森協議会への活動支援</p> <p>(1)保全活動 (2)植栽活動 (3)森林保護PR活動 (4)組織編成部会</p> <p>2. 幼木植栽地等の保全活動</p> <p>(1)草刈ロボット活用</p> <p>3. コミュニティビジネスへの活動支援</p> <p>(1)側面支援(補助金) (2)先進地視察 (3)意見交換によるCB事業拡大検討 (4)意見交換出席者謝礼</p> <p>4. 海辺の森交流人口拡大活動</p> <p>(1)コンサルタント委託 (2)アドバイザー謝礼</p> <p>5. 地・学・官連携事業</p> <p>(1)植栽活動 (2)連携事務支援委託</p>
3カ年の 予定総事業費	11,300千円		
<参考> 区づくり事業 終了後の予定	海辺の森協議会(地元住民を主体に組織される団体)によって、自主的に海辺の森の保全作業を行うとともに、地域住民が周辺資源の利活用による環境整備やコミュニティビジネスを展開し、海辺の森を核とした交流人口の拡大による地域活性化が進んでいく。		

特色ある区づくり事業計画書(その1)

事業名	「松浜海岸の環境整備と地域活性化」事業
事業の取組み	<input checked="" type="checkbox"/> 区独自の課題解決に向けた取組み <input type="checkbox"/> 区の伝統・文化など区が持つ魅力や特性を生かした取組み <input checked="" type="checkbox"/> 区の自然・風土を生かした取組み <input checked="" type="checkbox"/> 区民と協働による取組み <input type="checkbox"/> 区民との協働を目指した取組み
区ビジョン	<input checked="" type="checkbox"/> 豊かな自然と共生するまち <input type="checkbox"/> 都市機能が充実したまち <input type="checkbox"/> 活力ある産業のまち <input type="checkbox"/> 学びあい、健康で、人にやさしいまち <input checked="" type="checkbox"/> 安心安全で暮らしやすいまち <input type="checkbox"/> その他()
事業期間	平成30年4月1日 ~ 令和3年3月31日
担当所属	北区建設課
現状・課題・ニーズ (事業実施の前提)	松浜海岸の飛砂を防止するため、砂丘地に部分的にアキグミが植栽されている。砂丘地が広範囲であることから、十分な効果が現れておらず、海岸近隣の住民は依然として飛砂被害に悩まされている状況である。また、海岸砂丘地にある市民文化遺産「ひょうたん池」の埋没も心配されており、飛砂防止対策による暮らしやすい環境づくりが必要である。
目的 (何のために)	松浜海岸に隣接する民家等への飛砂防止について、地域で協働し、飛砂被害による生活環境の改善に取り組む。住民と海岸との共生を目指し、暮らしやすさで選ばれるまちにつなげる。
手段 (どのようなやり方で)	地域住民と協働で、海岸との共生に関する意識啓発を目的としたイベントを実施し、地元住民や小学生等とアキグミを植栽して飛砂を防止する。アキグミ植栽の周囲を防砂ネットで保護し、飛砂による樹木の埋没を防止する。
期待される事業効果 (目的に対して)	アキグミを植栽することにより砂丘地が緑化され、近隣住宅地への飛砂被害の軽減が図れる。また砂丘内にある市民文化遺産「ひょうたん池」の埋没も防ぎ、地域の環境保全が期待される。 地域に深く根ざしている海岸との共生により、地域への愛着が生まれる。

特色ある区づくり事業計画書(その2)

実施年度	平成30年度(1年目)	令和1年度(2年目)	令和2年度(3年目)
事業費	2,500,000円(予算額)	3,400,000円(予算額)	3,000,000円(予算額)
計画内容 (手段に対して)	<ul style="list-style-type: none"> ・松浜海岸における住民参加によるアキグミ苗木の植栽 ・アキグミ苗木の保護のための飛砂防止ネット設置 	同左	同左
3カ年の 予定総事業費	8,900千円		
<参考> 区づくり事業 終了後の予定	未定(事業継続の依頼あり)		

特色ある区づくり事業計画書(その1)

事業名	北区賑わいづくり事業
事業の取組み	<input checked="" type="checkbox"/> 区独自の課題解決に向けた取組み <input type="checkbox"/> 区の伝統・文化など区が持つ魅力や特性を生かした取組み <input type="checkbox"/> 区其自然・風土を生かした取組み <input checked="" type="checkbox"/> 区民と協働による取組み <input type="checkbox"/> 区民との協働を目指した取組み
区ビジョン	<input type="checkbox"/> 豊かな自然と共生するまち <input checked="" type="checkbox"/> 都市機能が充実したまち <input type="checkbox"/> 活力ある産業のまち <input type="checkbox"/> 学びあい、健康で、人にやさしいまち <input type="checkbox"/> 安心安全で暮らしやすいまち <input type="checkbox"/> その他()
事業期間	平成 31年 4月 1日 ~ 令和 4年 3月 31日
担当所属	北区地域総務課
現状・課題・ニーズ (事業実施の前提)	<ul style="list-style-type: none"> ・鉄道駅は、生活交通の拠点でありバスを含めた交通網の確立と利用促進につながる重要箇所である。 ・新崎駅の乗降者数は、過去10年間をみても約2,800人/日前後の横ばいで推移しており、その利用促進が課題となっている。 ・新崎駅周辺に商店等がなく、賑わう空間が乏しく活気がない。
目的 (何のために)	<ul style="list-style-type: none"> ・北区の玄関口である新崎駅周辺に賑わいを創出し、多くの人が集う場所とすることで、新崎駅の利用者増加を図る。
手段 (どのようなやり方で)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民や関係者に駅の利用拡大及び駅周辺の賑わいづくりに向けたアイデアを出してもらい、行政と一緒に魅力ある駅づくりに取り組む。
期待される事業効果 (目的に対して)	<ul style="list-style-type: none"> ・新崎駅の利用者増加につなげる。 ・駅を中核としたにぎわいが生まれる。

特色ある区づくり事業計画書(その2)

実施年度	平成31年度(1年目)	令和2年度(2年目)	令和3年度(3年目)
事業費	1,000,000円(予算額)	1,000,000円(予定額)	1,000,000円(予定額)
計画内容 (手段に対して)	・新崎駅北口及び南口広場のイルミネーション設置によるライトアップ	同左	同左
3カ年の 予定総事業費	3,000千円		
＜参考＞ 区づくり事業 終了後の予定	実施状況を踏まえ検討		

特色ある区づくり事業計画書(その1)

事業名	地域商業にぎわい創出プロジェクト
事業の取組み	<input checked="" type="checkbox"/> 区独自の課題解決に向けた取組み <input type="checkbox"/> 区の伝統・文化など区が持つ魅力や特性を生かした取組み <input type="checkbox"/> 区其自然・風土を生かした取組み <input type="checkbox"/> 区民と協働による取組み <input type="checkbox"/> 区民との協働を目指した取組み
区ビジョン	<input type="checkbox"/> 豊かな自然と共生するまち <input type="checkbox"/> 都市機能が充実したまち <input checked="" type="checkbox"/> 活力ある産業のまち <input type="checkbox"/> 学びあい、健康で、人にやさしいまち <input type="checkbox"/> 安心安全で暮らしやすいまち <input type="checkbox"/> その他()
事業期間	令和2年4月1日 ～ 令和5年3月31日
担当所属	北区産業振興課
現状・課題・ニーズ (事業実施の前提)	平成29年度から区づくり事業として、3年間にわたり北区における人口減少や少子高齢化に伴う商業の衰退、街の活力低下を食い止め、北区の地域商業の活性化と街のにぎわい創出を目的として、地域商業活性化事業を実施してきた。各地域の活性化のテーマを用いて、地域全体のイメージアップを図り、継続した賑わいへと繋がるよう取り組みを行ってきた。しかし、地域ブランドの定着及び継続した賑わいには至っていない。
目的 (何のために)	<ul style="list-style-type: none"> ・北区における人口減少や少子高齢化に伴う、商業の衰退、街の活力低下を食い止め、北区の地域商業の活性化と街のにぎわいを創出する。また、地域に若者が定着するような魅力ある地域を創造する。 ・これまでの地域商業活性化事業で実施してきた活動をもとに、さらなる一体感に向けて将来へと持続的に展開していく。
手段 (どのようなやり方で)	・地域商業活性化のテーマをもとに地域の商店街や商店の新規顧客の獲得に繋がる取り組みを実施する。テーマに沿ったコンテンツ開発やPR展開を行い、エリア全体での一体感を持ったイメージアップを図り、地域への愛着形成及び継続した賑わいを創出する。
期待される事業効果 (目的に対して)	各個店の新規顧客の獲得とエリア全体の魅力アップによる来街者増加につながる。地域の子ども、若者から地域に愛着を持ってもらい、地域への定着が期待できる。エリアとしての共通イメージが構築されることで、一体感を持って様々な活動が展開され、波及効果が生まれる。

特色ある区づくり事業計画書(その2)

実施年度	令和2年度(1年目)	令和3年度(2年目)	令和4年度(3年目)
事業費	1,600千円(予定額)	1,600千円(予定額)	1,600千円(予定額)
計画内容 (手段に対して)	<p>地域商業活性化のテーマに沿って新規顧客獲得と地域への愛着形成、来街者増加を目的としたコンテンツ開発やPR展開に取り組む。</p> <p>(1)地域商業にぎわい創出事業(豊栄地域) 負担金 <内訳> ・活動費 一式</p> <p>(2)地域商業にぎわい創出事業(北新潟地域) 負担金 <内訳> ・活動費 一式</p>	<p>地域商業活性化のテーマに沿って新規顧客獲得と地域への愛着形成、来街者増加を目的としたコンテンツ開発やPR展開に取り組む。</p> <p>(1)地域商業にぎわい創出事業(豊栄地域) 負担金 <内訳> ・活動費 一式</p> <p>(2)地域商業にぎわい創出事業(北新潟地域) 負担金 <内訳> ・活動費 一式</p>	<p>地域商業活性化のテーマに沿って新規顧客獲得と地域への愛着形成、来街者増加を目的としたコンテンツ開発やPR展開に取り組む。</p> <p>(1)地域商業にぎわい創出事業(豊栄地域) 負担金 <内訳> ・活動費 一式</p> <p>(2)地域商業にぎわい創出事業(北新潟地域) 負担金 <内訳> ・活動費 一式</p>
3カ年の 予定総事業費	4,800千円		
<参考> 区づくり事業 終了後の予定	さらなる自立的な活動への波及と事業継続のため、官民で協力してイメージの定着を支援していく。		

特色ある区づくり事業計画書(その1)

事業名	魅力発信キタクなるプロジェクト
事業の取組み	<input type="checkbox"/> 区独自の課題解決に向けた取組み ■ 区の伝統・文化など区が持つ魅力や特性を生かした取組み <input type="checkbox"/> 区の自然・風土を生かした取組み □ 区民と協働による取組み <input type="checkbox"/> 区民との協働を目指した取組み
区ビジョン	<input type="checkbox"/> 豊かな自然と共生するまち □ 都市機能が充実したまち ■ 活力ある産業のまち <input type="checkbox"/> 学びあい、健康で、人にやさしいまち □ 安心安全で暮らしやすいまち □ その他()
事業期間	平成31年4月1日 ~ 令和4年3月31日
担当所属	北区産業振興課
現状・課題・ニーズ (事業実施の前提)	平成23年から市場や割烹など区内の観光資源を巡るバスツアーを実施し、多くの客に足を運んでもらえた。しかし市内客が大半を占めたため、今後はより北区の観光資源の整備と魅力発信を充実させ、市外・県外客の増加を図る取り組みが望まれる。
目的 (何のために)	交流人口拡大のため、市外・県外在住者に向けた広報を実施するほか、観光資源を整備して魅力を向上させ、新規顧客の開拓とリピーターの増加を狙う。
手段 (どのようなやり方で)	<ul style="list-style-type: none"> ・区内観光関係団体や商業団体を通して、より効果的な観光振興事業実施のための意見集約を行う。 ・区内の観光資源を、ガイドブックなどのPR資料の作成や活用促進事業等を通して旅行者(市外, 県外, 外国人客)が訪れやすいようにする。 ・区内の観光地, イベントへの交通手段を提供し, 旅行者が訪れやすいようにする。 ・観光モニターを募集し, モニターがまとめた区内の観光スポットやグルメの情報をSNS等を通じて発信する。
期待される事業効果 (目的に対して)	観光資源の魅力をわかりやすく提供, また交通手段を整備することで, 旅行先に選んでもらいやすくなり, 観光客の増加が期待できる。区内の観光情報を市外・県外へも提供できるようにすることで, 新規顧客の開拓ができ, 交流人口の増加が期待できる。

特色ある区づくり事業計画書(その2)

実施年度	令和元年度(1年目)	令和2年度(2年目)	令和3年度(3年目)
事業費	3,000千円(予定額)	3,000千円(予定額)	3,000千円(予定額)
計画内容 (手段に対して)	(1)新潟市北区観光誘客推進協議会 負担金 1,130,000円 1 バスツアー支援(250,000円) ・広報費、ガイド費の補助 2 観光資源利用促進事業(200,000円) ・市場共通商品券発行支援 3 観光宣伝資料製作事業(600,000円) 4 桜の名所づくり事業支援(40,000円) ・観桜イベント支援 5 事務局委託料<40,000円> (2)北区観光PR事業 400,000円 ・消耗品購入, 看板等修繕 需用費 (3)北区観光シャトルバス事業 委託料 950,000円 (4)北区観光モニター事業 委託料 520,000円 ・事務管理費(50,000円) ・モニター活動費(260,000円) ・レンタサイクル事業(110,000円) ・諸経費(100,000円)	(1)新潟市北区観光誘客推進協議会 負担金 1,130,000円 1 バスツアー支援(250,000円) ・広報費、ガイド費の補助 2 観光資源利用促進事業(200,000円) ・市場共通商品券発行支援 3 観光宣伝資料製作事業(600,000円) 4 桜の名所づくり事業支援(40,000円) ・観桜イベント支援 5 事務局委託料<40,000円> (2)北区観光PR事業 需用費 480,000円 ・消耗品購入, PR物品製作 需用費(180,000円) ・広告掲載費 役務費(300,000円) (3)北区観光シャトルバス事業 委託料 950,000円 (4)北区観光モニター事業 委託料 440,000円 ・事務管理費(50,000円) ・モニター活動費(250,000円) ・レンタサイクル事業(110,000円) ・諸経費(30,000円)	(1)新潟市北区観光誘客推進協議会 負担金 930,000円 1 観光資源利用促進事業(150,000円) ・市場共通商品券発行支援 2 観光宣伝資料製作事業(700,000円) 3 桜の名所づくり事業支援(40,000円) ・観桜イベント支援 4 事務局委託料<40,000円> (2)北区観光PR事業 需用費 720,000円 ・消耗品購入, 看板等修繕 需用費 (3)北区観光シャトルバス事業 委託料 950,000円 (4)北区観光モニター事業 委託料 400,000円 ・事務管理費(50,000円) ・モニター活動費(240,000円) ・レンタサイクル事業(100,000円) ・諸経費(10,000円)
3カ年の 予定総事業費	9,000千円		
<参考> 区づくり事業 終了後の予定	区づくり事業の成果をもとにして引き続き官民一体となって観光振興に取り組む。		

特色ある区づくり事業計画書(その2)

実施年度	平成30年度(1年目)	令和元年度(2年目)	令和2年度(3年目)
事業費	1,000,000円(決算額)	1,000,000円(予算額)	1,000,000円(予定額)
計画内容 (手段に対して)	1. 農産物のブランド力強化 (1) 販売促進ツールの作成 (2) 販売・PRイベントへの参加 (3) その他広報活動 2. 新技術の導入検討 (1) 研修会費 (2) 出張費 (3) 会議費 (4) その他雑費 3. 加工品の開発 (1) 試作費	1. 農産物のブランド力強化 (1) 販売促進ツールの作成 (2) 販売・PRイベントへの参加 (3) その他広報活動 2. 新技術の導入検討 (1) 研修会費 (2) 出張費 (3) 会議費 (4) その他雑費	1. 農産物のブランド力強化 (1) 販売促進ツールの作成 (2) 販売・PRイベントへの参加 (3) その他広報活動 2. 新技術の導入検討 (1) 会議費 (2) その他雑費
3カ年の 予定総事業費	3,000千円		
<参考> 区づくり事業 終了後の予定	<ul style="list-style-type: none"> ・農産物のブランド化及び新たな栽培技術の導入を通じた主要農産物の生産規模拡大。 ・生産者らが自立的にICT等の新技術を本格導入できるような下地を整える。 		

特色ある区づくり事業計画書(その1)

事業名	夏休み公共施設利用促進事業
事業の取組み	<input checked="" type="checkbox"/> 区独自の課題解決に向けた取組み <input checked="" type="checkbox"/> 区の伝統・文化など区が持つ魅力や特性を生かした取組み <input type="checkbox"/> 区の自然・風土を生かした取組み <input type="checkbox"/> 区民と協働による取組み <input type="checkbox"/> 区民との協働を目指した取組み
区ビジョン	<input type="checkbox"/> 豊かな自然と共生するまち <input checked="" type="checkbox"/> 都市機能が充実したまち <input type="checkbox"/> 活力ある産業のまち <input checked="" type="checkbox"/> 学びあい、健康で、人にやさしいまち <input type="checkbox"/> 安心安全で暮らしやすいまち <input type="checkbox"/> その他()
事業期間	令和2年4月1日 ~ 令和5年3月31日
担当所属	北区地域総務課
現状・課題・ニーズ (事業実施の前提)	<ul style="list-style-type: none"> ・次世代を担う子どもたちが、様々な人々と交流しながら、地域の文化や郷土の歴史等に触れ、心豊かに、地域に誇りを持ち、自己肯定感を持って暮らせる環境づくりが求められている。夏休み期間は長期の休みであり、多様な体験ができる機会であるが、保護者が働きに出ているなど家族で対応できない状況がある。また、ゲーム中心の日常の過ごし方が問題となっており、子どもたちが健全に過ごすことが課題である。 ・北区内においては、公共施設が主に葛塚地区にあることから、移動手段がない子どもたちには公共施設が利用しづらい。公共施設の活用を促進することで、出会いや、学びが広がり心豊かな生活を送る支援を行う必要がある。
目的 (何のために)	<ul style="list-style-type: none"> ・これからの北区を担う子どもたちなど、北区の公共施設の活用を通じて様々な体験をしてもらう。 ・区内の子どもたちが普段行くことのできない施設や地域を訪れることで、北区の魅力を感じ、見聞を広め、今後も地域に関心を持ってもらい、さらには地域の活性化につなげる機会とする。
手段 (どのようなやり方で)	<ul style="list-style-type: none"> ・区内の公共施設(ビュー福島潟、遊水館、豊栄図書館、北区文化会館、北区郷土博物館、豊栄児童センターなど)より、夏休み期間の子どもや親子向けの催し物、子どもの居場所などについて情報を得る。 ・公共施設が利用しづらい地域には、移動手段として無料バスを運行する。 ・公共施設から得た情報をチラシにし、区内の全小中学校へ配布。併せて無料バスが運行することについても周知を図る。
期待される事業効果 (目的に対して)	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休み期間における公共施設利用体験を通じて、自己啓発や地域への関心を高めることができる。 ・北区の魅力を認識してもらうことにより、公共施設の認知度の向上につながり、さらなる公共施設の活用が期待できる。

特色ある区づくり事業計画書(その2)

実施年度	令和2年度(1年目)	令和3年度(2年目)	令和4年度(3年目)
事業費	2,200,000円(予算額)	2,200,000円(予定額)	2,200,000円(予定額)
計画内容 (手段に対して)	<ul style="list-style-type: none"> ・区内の公共施設より、夏休み期間の催し物、子どもの居場所などについて情報収集のうえチラシにし、夏休み前に区内の全小中学校へ配布。 ・各公共施設への、交通手段がない地域へは、無料バス運行。 	<ul style="list-style-type: none"> ・同左 ・同左 	<ul style="list-style-type: none"> ・同左 ・同左
3カ年の 予定総事業費	6,600,000円		
＜参考＞ 区づくり事業 終了後の予定	実施状況を踏まえ検討		

特色ある区づくり事業計画書(その1)

事業名	木崎村小作争議100周年事業
事業の取組み	<input type="checkbox"/> 区独自の課題解決に向けた取組み ■区の伝統・文化など区が持つ魅力や特性を生かした取組み <input type="checkbox"/> 区其自然・風土を生かした取組み □区民と協働による取組み <input type="checkbox"/> 区民との協働を目指した取組み
区ビジョン	<input type="checkbox"/> 豊かな自然と共生するまち □都市機能が充実したまち □活力ある産業のまち <input checked="" type="checkbox"/> 学びあい、健康で、人にやさしいまち □安心安全で暮らしやすいまち □その他()
事業期間	令和2年4月1日 ~ 令和5年3月31日
担当所属	北区地域総務課 北区郷土博物館
現状・課題・ニーズ (事業実施の前提)	木崎村小作争議は、北区の歴史の中でも特徴的な出来事である。農民が自らの生活の改善を目指した運動で、大正から昭和初期の農民運動として全国的にも知られている。しかし、徐々にその記憶も薄れてきており、歴史資料の劣化も進んでいる。当館協議会でも、北区の特徴的な出来事を積極的に発信すべきとの提案もいただいている。また、これまでの刊行物、当館企画展では、いわゆる小作側からの視点で捉えられているため、地主の人物像や地域における業績などが対立構造の中に埋もれ、紹介されることがほとんどなかった状況がある。
目的 (何のために)	
手段 (どのようなやり方で)	100周年にあたる令和4(2022)年度5月～7月の間に、100周年企画展示事業を行う。その期間中に、小作側と地主側の双方の視点から争議を研究する研究者の講演、木崎村小作争議にゆかりのある場所をめぐるツアーを実施する。令和2(2020)年度及び令和3(2021)年度には、企画展示に使う、歴史資料で傷みが進んで展示に耐えないものがあるので、専門家から意見をもらい修復する。また、当館所蔵資料のほかにも関係資料の有無を調査し、展示に必要なものは事前にパネル化する。また、企画展パンフレットや今回の事業の記録集を作成する。
期待される事業効果 (目的に対して)	<ul style="list-style-type: none"> ・劣化の激しい木製の資料(農民学校西入口看板・市指定文化財)の修復を行うことで全国的にも有名な小作争議に係わる歴史資料を次世代に引き継げる。今後の展示公開等でも活用できる。 ・企画展終了後に展示会の報告、講演会の報告、修復の報告等をまとめた記録集を作製することで整理された記録が残る。 ・小作と地主のそれぞれの立場を示すことで、視野を広くした資料整理及び発信ができる。

特色ある区づくり事業計画書(その2)

実施年度	令和2年度(1年目)	令和3年度(2年目)	令和4年度(3年目)
事業費	300,000円(予算額)	1,200,000円(予定額)	500,000円(予定額)
<p>計画内容 (手段に対して)</p>	<p>「木崎村小作争議100周年事業」資料の調査・研究・目録作り 木崎村小作争議関連の市指定文化財の修理修繕のための調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査研究 <ul style="list-style-type: none"> 資料整理・目録作成費 50千円 資料撮影費 50千円 調査旅費 60千円 ・資料修復準備 <ul style="list-style-type: none"> 修復調査旅費 20千円 調査招聘旅費 10千円 調査謝礼 30千円 作品輸送費 80千円 	<p>木崎村小作争議関連の市指定文化財の修理修繕 100周年企画展のパネル製作委託 研究者に寄稿文の依頼 広報印刷物、パンフレット</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料修復費 <ul style="list-style-type: none"> 修復修繕費 450千円 (専用展示ケース、輸送費込み) ・展示用パネル・展示台等製作費 210千円 ・印刷物 <ul style="list-style-type: none"> ポスター・チラシ作成費 100千円 パンフレット作成費 290千円 原稿執筆謝礼 100千円 撮影費 50千円 	<p>5月～7月の間の1か月程度に渡る「木崎村小作争議100周年企画展」(市指定文化財、説明パネルの展示) 同期間中に小作側と地主側の双方の立ち場から見た講演会 企画展と講演会記録集作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・展示用消耗品類 100千円 ・講演会謝礼(旅費込) 200千円 ・バスツアー講師謝礼 10千円 ・記録集印刷費 160千円 ・印刷物郵送料 30千円
3カ年の 予定総事業費	2,000,000円		
<p><参考> 区づくり事業 終了後の予定</p>	<p>3か年の特色ある区づくり事業の成果を、北区郷土博物館の常設展示に利用していくことができる。</p>		

特色ある区づくり事業計画書(その1)

事業名	北区子育て応援事業
事業の取組み	<input type="checkbox"/> 区独自の課題解決に向けた取組み <input type="checkbox"/> 区の伝統・文化など区が持つ魅力や特性を生かした取組み <input type="checkbox"/> 区の自然・風土を生かした取組み <input checked="" type="checkbox"/> 区民と協働による取組み <input type="checkbox"/> 区民との協働を目指した取組み
区ビジョン	<input type="checkbox"/> 豊かな自然と共生するまち <input type="checkbox"/> 都市機能が充実したまち <input type="checkbox"/> 活力ある産業のまち <input checked="" type="checkbox"/> 学びあい、健康で、人にやさしいまち <input type="checkbox"/> 安心安全で暮らしやすいまち <input type="checkbox"/> その他()
事業期間	令和2年4月1日 ~ 令和5年3月31日
担当所属	北区健康福祉課
現状・課題・ニーズ (事業実施の前提)	<ul style="list-style-type: none"> ・核家族化が進む中、産休・育休から母親が早期職場復帰するケースが増え、0歳児からの保育園入園が増加しており、地域の中で子育て支援を行う前提となる「顔の見える地域の人間関係」を構築しにくい状況となっている。 ・子育てする親が孤立化しないよう、支援者や他の親とつながるきっかけとなる取り組みが、児童虐待予防や児童健全育成のために重要である。
目的 (何のために)	<ul style="list-style-type: none"> ・親が地域の支援拠点で子育て仲間を作ることにより、助け合って子育てができる環境を確立するとともに乳幼児期からの切れ目ない支援につなげる。 ・北区の実情に応じた地域で子育てを支える体制構築を推進する。
手段 (どのようなやり方で)	<ol style="list-style-type: none"> ① 子育て支援講座の開催。 ② 子育て情報誌による北区の子育て情報の発信。 ③ 地域での子育てや家族を支え合う体制づくりに向けたモデル的事業の展開。 ④ 児童の福祉向上に寄与するイベントを実施する。
期待される事業効果 (目的に対して)	<ul style="list-style-type: none"> ・親が地域で孤立せずに適切な知識を得て子育てができるようにすることで、親の育児不安解消・児童虐待の予防・子どもの健やかな成長につながる。 ・地域での支援体制の充実により、「北区で子育てしていきたい」と感じる親が増え、子育て世代に「暮らしやすさで選ばれるまち」となる。

特色ある区づくり事業計画書(その2)

実施年度	令和2年度(1年目)	令和3年度(2年目)	令和4年度(3年目)
事業費	2,400,000円(予定額)	2,400,000円(予定額)	2,400,000円(予定額)
計画内容 (手段に対して)	<ul style="list-style-type: none"> ○子育て支援関連講座の開催 ・NP講座 ・支援者向けスキルアップ講座 等 ○子育て情報誌ままKiTa発行 ○北区ふゆっこまつりの開催 (実行委員会への負担金支出) ○「地域で子育てを支援合う」体制の モデル事業として早通健康福祉会館 子育て応援カフェ「ぴよぴよ」の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ○子育て支援関連講座の開催 ・NP講座 ・支援者向けスキルアップ講座 等 ○子育て情報誌ままKiTa発行 ○北区ふゆっこまつりの開催 (実行委員会への負担金支出) ○「地域で子育てを支援合う」体制の モデル事業として早通健康福祉会館 子育て応援カフェ「ぴよぴよ」の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ○子育て支援関連講座の開催 ・NP講座 ・支援者向けスキルアップ講座 等 ○子育て情報誌ままKiTa発行 ○北区ふゆっこまつりの開催 (実行委員会への負担金支出) ○「地域で子育てを支援合う」体制の モデル事業として早通健康福祉会館 子育て応援カフェ「ぴよぴよ」の開催
3カ年の 予定総事業費	7,200,000円		
<参考> 区づくり事業 終了後の予定	事業所等の自主事業として実施できる事業を整理しつつ、事業自体は継続実施する。		

特色ある区づくり事業計画書(その1)

事業名	北区もの忘れ検診
事業の取組み	<input type="checkbox"/> 区独自の課題解決に向けた取組み <input type="checkbox"/> 区の伝統・文化など区が持つ魅力や特性を生かした取組み <input type="checkbox"/> 区の自然・風土を生かした取組み <input checked="" type="checkbox"/> 区民と協働による取組み <input type="checkbox"/> 区民との協働を目指した取組み
区ビジョン	<input type="checkbox"/> 豊かな自然と共生するまち <input type="checkbox"/> 都市機能が充実したまち <input type="checkbox"/> 活力ある産業のまち <input checked="" type="checkbox"/> 学びあい、健康で、人にやさしいまち <input type="checkbox"/> 安心安全で暮らしやすいまち <input type="checkbox"/> その他()
事業期間	令和 2年 4月 1日 ~ 令和 5年 3月31日
担当所属	北区健康福祉課
現状・課題・ニーズ (事業実施の前提)	2018年には認知症の人の数は500万人を超え、65歳以上高齢者が7人に1人が認知症と見込まれている。かかりつけ医や地域包括支援センター等と連携し、認知症を早期に発見し、早期に対応することで、認知症の進行を遅らせ、地域で安心して暮らせるようにする。
目的 (何のために)	認知機能の低下している高齢者を早期に発見し、適切な治療・支援サービスにつなげる。
手段 (どのようなやり方で)	65歳以上の希望者に対しもの忘れ検診を実施する。北区医師会の協力を得て国民健康保険の特定健診、後期高齢者健診受診時に医療機関にて実施する。 認知機能低下が疑われる方に対し、適切な治療・支援サービスにつなげる。
期待される事業効果 (目的に対して)	認知症を早期発見・早期対応することで、進行を遅らせ本人や家族が混乱の中にも対応力を備えることができる。検診を通じて認知症に関する知識の普及を図り、地域で認知症について考え・理解する機会となる。

特色ある区づくり事業計画書(その2)

実施年度	令和2年度(1年目)	令和3年度(2年目)	令和4年度(3年目)
事業費	800,000円(予算額)	800,000円(予算額)	800,000円(予算額)
計画内容 (手段に対して)	<ul style="list-style-type: none"> ・検診の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・データ入力事務賃金 85,000円 ・必要な帳票類の作成 150,000円 ・郵送料 46,000円 ・消耗品費 96,000円 ・検診検討会議 <ul style="list-style-type: none"> ・出席者謝礼他 117,000円 ・出席者お茶代 2,000円 ・啓発活動 <ul style="list-style-type: none"> チラシ・ポスター作成 154,000円 検診カレンダー 150,000円 	<ul style="list-style-type: none"> ・検診の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・データ入力事務賃金 85,000円 ・必要な帳票類の作成 150,000円 ・郵送料 46,000円 ・消耗品費 96,000円 ・検診検討会議 <ul style="list-style-type: none"> ・出席者謝礼他 117,000円 ・出席者お茶代 2,000円 ・啓発活動 <ul style="list-style-type: none"> チラシ・ポスター作成 154,000円 検診カレンダー 150,000円 	<ul style="list-style-type: none"> ・検診の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・データ入力事務賃金 85,000円 ・必要な帳票類の作成 150,000円 ・郵送料 46,000円 ・消耗品費 96,000円 ・検診検討会議 <ul style="list-style-type: none"> ・出席者謝礼他 117,000円 ・出席者お茶代 2,000円 ・啓発活動 <ul style="list-style-type: none"> チラシ・ポスター作成 154,000円 検診カレンダー 150,000円
3カ年の 予定総事業費	2,400千円		
<参考> 区づくり事業 終了後の予定	検診実施で築いた、かかりつけ医や地域包括支援センターなど地域の機関とフォロー体制を可能な限り継続する。 地域での認知症予防活動の充実を図る。		

特色ある区づくり事業計画書(その1)

事業名	大学生による家庭介護セミナー
事業の取組み	<input type="checkbox"/> 区独自の課題解決に向けた取組み <input type="checkbox"/> 区の伝統・文化など区が持つ魅力や特性を生かした取組み <input type="checkbox"/> 区の自然・風土を生かした取組み <input checked="" type="checkbox"/> 区民と協働による取組み <input type="checkbox"/> 区民との協働を目指した取組み
区ビジョン	<input type="checkbox"/> 豊かな自然と共生するまち <input type="checkbox"/> 都市機能が充実したまち <input type="checkbox"/> 活力ある産業のまち <input checked="" type="checkbox"/> 学びあい、健康で、人にやさしいまち <input type="checkbox"/> 安心安全で暮らしやすいまち <input type="checkbox"/> その他()
事業期間	令和2年4月1日 ~ 令和5年3月31日
担当所属	北区健康福祉課
現状・課題・ニーズ (事業実施の前提)	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化や核家族化が進む中、平均寿命が延びるにつれて、高齢者同士による介護が増えてきている。 ・両親や配偶者、兄弟など、誰もが当事者としてその介護に関わる可能性がある。
目的 (何のために)	<ul style="list-style-type: none"> ・学生と地域住民の交流を通し、介護に関する知識を学び、家族の介護に備えられるようにする。
手段 (どのようなやり方で)	<ul style="list-style-type: none"> ・新潟医療福祉大学社会福祉学科の学生を講師とした介護に関するセミナーを開催する。
期待される事業効果 (目的に対して)	<ul style="list-style-type: none"> ・セミナーの場で、学生が大学で履修した介護に関する知識や技術を地域住民と共有することにより、地域の健康・自立の延伸など「地域社会への貢献」を学生に実感してもらうことができる。 ・住民は介護の技術や知識を学ぶとともに、学生とのコミュニケーションを通じて住民同士の会話が生まれ、地域における日々の関係性を深めてもらうことができる。

特色ある区づくり事業計画書(その2)

実施年度	令和2年度(1年目)	令和3年度(2年目)	令和4年度(3年目)
事業費	300千円(予定額)	300千円(予定額)	300千円(予定額)
計画内容 (手段に対して)	<p>家族の介護について学んでいる新潟医療福祉大学 社会福祉学科の学生と連携して、介護技術等に関するセミナーを開催し、家族の介護負担の軽減や、いつか訪れるかもしれない家族の介護に備えられるよう介護の基本的知識やスキルを身につけてもらうとともに、学生と地域とのつながりを深める。</p> <p>【会場】 コミュニティセンターなど</p> <p>【定員】 20名</p> <p>【講師】 医療福祉大の学生及び教員</p> <p>【内容】 ・介護の基本的知識や技術(食事・入浴・移動介助等)を楽しく学ぶ。また、お茶を飲みながら参加者との交流も行う。 * 内容は毎年度見直す。</p>	<p>家族の介護について学んでいる新潟医療福祉大学 社会福祉学科の学生と連携して、介護技術等に関するセミナーを開催し、家族の介護負担の軽減や、いつか訪れるかもしれない家族の介護に備えられるよう介護の基本的知識やスキルを身につけてもらうとともに、学生と地域とのつながりを深める。</p> <p>【会場】 コミュニティセンターなど</p> <p>【定員】 20名</p> <p>【講師】 医療福祉大の学生及び教員</p> <p>【内容】 ・介護の基本的知識や技術(食事・入浴・移動介助等)などを楽しく学ぶ。また、お茶を飲みながら参加者との交流も行う。</p>	<p>家族の介護について学んでいる新潟医療福祉大学 社会福祉学科の学生と連携して、介護技術等に関するセミナーを開催し、家族の介護負担の軽減や、いつか訪れるかもしれない家族の介護に備えられるよう介護の基本的知識やスキルを身につけてもらうとともに、学生と地域とのつながりを深める。</p> <p>【会場】 コミュニティセンターなど</p> <p>【定員】 20名</p> <p>【講師】 医療福祉大の学生及び教員</p> <p>【内容】 ・介護の基本的知識や技術(食事・入浴・移動介助等)などを楽しく学ぶ。また、お茶を飲みながら参加者との交流も行う。</p>
3カ年の 予定総事業費	900千円		
<参考> 区づくり事業 終了後の予定			

特色ある区づくり事業計画書(その1)

事業名	地域「ひと・まち」パートナーシップ支援事業
事業の取組み	<input checked="" type="checkbox"/> 区独自の課題解決に向けた取組み <input type="checkbox"/> 区の伝統・文化など区が持つ魅力や特性を生かした取組み <input type="checkbox"/> 区其自然・風土を生かした取組み <input checked="" type="checkbox"/> 区民と協働による取組み <input type="checkbox"/> 区民との協働を目指した取組み
区ビジョン	<input type="checkbox"/> 豊かな自然と共生するまち <input type="checkbox"/> 都市機能が充実したまち <input type="checkbox"/> 活力ある産業のまち <input checked="" type="checkbox"/> 学びあい、健康で、人にやさしいまち <input type="checkbox"/> 安心安全で暮らしやすいまち <input type="checkbox"/> その他()
事業期間	平成31年4月1日 ~ 令和4年3月31日
担当所属	北区地域総務課
現状・課題・ニーズ (事業実施の前提)	<p>・地域の「ひと・まち」づくりは、学校や地域へのスタディサポーターの派遣等を通じて、大学生との連携・協働が着実に成果を上げている。</p> <p>・大学生との連携・協働は、学校をはじめ公民館や地域コミュニティ協議会、区民等から多様なニーズがあり、そのニーズに対応するためには、新たな連携・協働の仕組みと方法が必要となっている。</p> <p>・これまでの活動分野や対象、場所を超え、区の一体感の醸成や地域の「ひと・まち」づくりのニーズに幅広く対応するため、大学生と地域とのパートナーシップによる連携・協働を深化させる必要がある。</p>
目的 (何のために)	<p>区の一体感の醸成の取組や地域の「ひと・まち」づくりを深化させるため、地域において活動する大学生を「ひと・まち」づくりパートナー(タッグパートナー)として地域コミュニティ協議会や学校等(以下「地域コミュニティ等」という。)に派遣する。併せて、大学生が人と人、地域と地域、人と地域を結び付ける役割を担うことで、区の一体感の醸成を図る。</p>
手段 (どのようなやり方で)	<ol style="list-style-type: none"> 1 地域コミュニティ等へのタッグパートナーの派遣 地域の実情に応じた「ひと・まち」づくりの取組や活動に対してタッグパートナーを派遣する。 2 新潟医療福祉大学と地域コミュニティ関係者、北区関係者及び関係団体等との間においてネットワーク会議を定期的に行い、事業の円滑な運営を図る。 3 地域交流会の開催 事業の成果を広く区民や地域に還元し、区の一体感の醸成の取組や地域の「ひと・まち」づくりの意義と方法を北区全体で共有する。
期待される事業効果 (目的に対して)	<p>・大学生は、「タッグパートナー」として主体的に活動することで、職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていく上で必要な力(社会人基礎力)を形成することができる。</p> <p>・地域コミュニティ等は、大学生と協働して地域の実情に応じた「ひと・まち」づくりに取り組むことで、地域の課題解決力を高めることができる。</p> <p>・公私の社会資源がネットワークを形成して、区の一体感の醸成や地域の「ひと・まち」づくりに向けて取り組むことで、北区の社会的繋がりを高めることができる。</p>

特色ある区づくり事業計画書(その2)

実施年度	令和元年度(1年目)	令和2年度(2年目)	令和3年度(3年目)
事業費	1,600,000円(予算額)	1,600,000円(予定額)	1,600,000円(予定額)
計画内容 (手段に対して)	<p>①新潟医療福祉大学から地域コミュニティ協議会や学校等へひとづくり, まちづくりを連携・協働するタッグパートナーの派遣</p> <p>②新潟医療福祉大学, 地域コミュニティ協議会関係者, 行政及び関係団体等によるネットワーク会議(連絡調整会議)の開催</p> <p>③活動報告を兼ねた報告会(地域交流会)の開催</p> <p>④報告資料作成</p>	同左	同左
3カ年の 予定総事業費	4,800千円		
<参考> 区づくり事業 終了後の予定	事業終了後は, 北区と新潟医療福祉大学との包括連携協定に基づいて事業継続できる仕組み(大学の地域連携推進事業としての自主財源化等)を整えていく。		

特色ある区づくり事業計画書(その1)

事業名	介護予防のための専門職派遣事業		
事業の取組み	<input type="checkbox"/> 区独自の課題解決に向けた取組み <input type="checkbox"/> 区の自然・風土を生かした取組み <input type="checkbox"/> 区民との協働を目指した取組み	<input type="checkbox"/> 区の伝統・文化など区が持つ魅力や特性を生かした取組み <input checked="" type="checkbox"/> 区民と協働による取組み	
区ビジョン	<input type="checkbox"/> 豊かな自然と共生するまち <input checked="" type="checkbox"/> 学びあい、健康で、人にやさしいまち	<input type="checkbox"/> 都市機能が充実したまち <input type="checkbox"/> 安心安全で暮らしやすいまち	<input type="checkbox"/> 活力ある産業のまち <input type="checkbox"/> その他()
事業期間	平成30年4月1日 ~ 令和3年3月31日		
担当所属	北区健康福祉課		
現状・課題・ニーズ (事業実施の前提)	<ul style="list-style-type: none"> ・北区の高齢化率は平成31年3月末現在で30.4%と、新潟市の29%を上回っており、平成27年度から高齢化率の上昇が続く。 ・65歳以上の要介護・要支援認定者数は18.4%と、新潟市の18.6%(平成30年5月)を下回っているものの、高齢化率の増加とともに、要介護・要支援認定者数の増加が予測される。 ・一方で、年少人口は平成31年3月末現在で11.9%であり、平成28年に比べて減少傾向にあり、少子高齢化状態の継続が予測される。 ・地域の茶の間など高齢者の通いの場からは、介護予防に関する健康講座の開催の希望があり、地域包括支援センターや地区担当保健師などが健康講座を開催している。 		
目的 (何のために)	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防の知識と方法を提供することで、自ら介護予防に取り組むことができる高齢者を増やし、健康で暮らせるまちづくりを推進する。 		
手段 (どのようなやり方で)	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の日中の居場所やコミュニティセンターなどへ、リハビリテーション等に関する専門的知見を有する者を派遣し、介護予防に関する健康講座を開催する。 		
期待される事業効果 (目的に対して)	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防に取り組むことができる高齢者が増加し、健康寿命の延伸と要介護・要支援認定者数の増加抑制に寄与する。 		

特色ある区づくり事業計画書(その2)

実施年度	平成30年度(1年目)	令和元年度(2年目)	令和2年度(3年目)
事業費	1,417,000円(決算額)	1,500,000円(予算額)	1,500,000円(予定額)
計画内容 (手段に対して)	<p>◆北区総合スポーツ事業</p> <p>○新潟市北区体育協会に業務委託</p> <p>○開催時期 平成30年10月 ～平成31年1月末</p> <p>○参加者数予想 1,800人</p> <p>○開催内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツイベント (10月～11月を予定, 豊栄総合体育館) ・各競技大会(11種目, 北区内各所) ・スポーツ体験イベント (スポーツイベントと同日開催: 豊栄総合体育館, 豊栄南運動公園, 別日開催:北地区スポーツセンター) <p>○委託料</p> <p>【運営費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツイベント等 <p>【賞品代】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加賞等 <p>【需用費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポスター・チラシ代等 <p>【事務費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務経費 <p>◆北区元旦歩こう会</p> <p>○新潟市北区元旦歩こう会実行委員会主催</p> <p>○参加者数予想 600人</p> <p>○補助金(実行委員会への補助金)</p>	<p>◆北区総合スポーツ事業</p> <p>○新潟市北区スポーツ協会に業務委託</p> <p>○開催時期 令和元年10月 ～令和2年1月末</p> <p>○参加者数予想 1,900人</p> <p>○開催内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツイベント (10月～11月を予定, 豊栄総合体育館) ・各競技大会(11種目, 北区内各所) ・スポーツ体験イベント (スポーツイベントと同日開催: 豊栄総合体育館, 豊栄南運動公園, 別日開催:北地区スポーツセンター) <p>○委託料</p> <p>【運営費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツイベント等 <p>【賞品代】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加賞等 <p>【需用費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポスター・チラシ代等 <p>【事務費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務経費 <p>◆北区元旦歩こう会</p> <p>○新潟市北区元旦歩こう会実行委員会主催</p> <p>○参加者数予想 600人</p> <p>○補助金(実行委員会への補助金)</p>	<p>◆北区総合スポーツ事業</p> <p>○新潟市北区スポーツ協会に業務委託</p> <p>○開催時期 令和2年10月 ～令和3年1月末</p> <p>○参加者数予想 2,000人</p> <p>○開催内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツイベント (10月～11月を予定, 豊栄総合体育館) ・各競技大会(11種目, 北区内各所) ・スポーツ体験イベント (スポーツイベントと同日開催: 豊栄総合体育館, 豊栄南運動公園, 別日開催:北地区スポーツセンター) <p>○委託料</p> <p>【運営費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツイベント等 <p>【賞品代】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加賞等 <p>【需用費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポスター・チラシ代等 <p>【事務費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務経費 <p>◆北区元旦歩こう会</p> <p>○新潟市北区元旦歩こう会実行委員会主催</p> <p>○参加者数予想 600人</p> <p>○補助金(実行委員会への補助金)</p>
3カ年の 予定総事業費	4,417千円		
<参考> 区づくり事業 終了後の予定	<p>イベントの知名度を上げ, 参加者数を増やすことで継続的に行えるよう軌道に乗せる。また, 各競技別大会は新潟市北区スポーツ協会主催により継続実施する。</p> <p>北区元旦歩こう会は, 参加者の意見・要望を踏まえ, 実行委員会での実施について検討する。</p>		

特色ある区づくり事業計画書(その2)

実施年度	令和元年度(1年目)	令和2年度(2年目)	令和3年度(3年目)
事業費	600,000円(予算額)	600,000円(予定額)	600,000円(予定額)
計画内容 (手段に対して)	スキルアップ講習等委託料 年間で4回の講習の企画運営	スキルアップ講習等委託料 年間で3回の講習の企画運営 防災訓練指導実習 年間で1～2回の防災訓練の企画運営サポート 防災訓練手引き資料作成 講習会テーマについて訓練手引き資料を作成	スキルアップ講習等委託料 年間で2回の講習の企画運営 防災訓練指導実習 年間で2～4回の防災訓練の企画運営サポート 防災訓練手引き資料作成 講習会テーマについて訓練手引き資料を作成
3カ年の 予定総事業費	1,800 千円		
<参考> 区づくり事業 終了後の予定	事業終了後も、防災士の定期的なスキルの向上とノウハウ蓄積のため2年に1度程度の指導技術講習会実施を検討。		

特色ある区づくり事業計画書(案)

事業名	北区交通マップ作成		
事業の取組み	<input type="checkbox"/> 区独自の課題解決に向けた取組み <input type="checkbox"/> 区の自然・風土を生かした取組み <input type="checkbox"/> 区民との協働を目指した取組み	<input type="checkbox"/> 区の伝統・文化など区が持つ魅力や特性を生かした取組み <input type="checkbox"/> 区民と協働による取組み <input checked="" type="checkbox"/> 区自治協議会が提案する、地域課題の解決に必要となる新たな事業や既存の取組みと連携を図る事業	
区ビジョン	<input type="checkbox"/> 豊かな自然と共生するまち <input type="checkbox"/> 学びあい、健康で、人にやさしいまち	<input checked="" type="checkbox"/> 都市機能が充実したまち <input type="checkbox"/> 安心安全で暮らしやすいまち	<input type="checkbox"/> 活力ある産業のまち <input checked="" type="checkbox"/> その他(区自治協議会提案事業)
事業期間	令和2年4月1日 ~ 令和3年3月31日		
関連部会	地域づくり部会		
現状・課題・ニーズ (事業実施の前提)	区内には多様な交通網が整備されており、さらなる利用促進のためには、それらの幅広い活用が求められる。各交通機関では、独自に時刻表や利用案内が作成・配布されているものの、区全体の公共交通に関する情報を一体的には把握できない状況にある。このため、区民が生活交通網を最大限に活かしていきれていない。		
目的 (何のために)	区内の公共交通に関する情報を集約して「見える化」することで、区民それぞれが自分の移動需要に適した公共交通の活用を知る契機とするとともに、公共交通のさらなる利用促進を図る。さらに、高齢者の外出を促し、健康寿命の延伸につなげる。		
手段 (どのようなやり方で)	区内の公共交通に関する情報を集約したマップを作成するとともに、その利用方法等についても併せて掲載し、広く情報提供する。		
期待される事業効果 (目的に対して)	公共交通に対する区民の理解を深め、利用促進につなげる。これにより、持続可能な公共交通の維持・形成に資する効果が期待される。		
令和2年度 予定額	800,000円		

特色ある区づくり事業計画書(案)

事業名	福祉教育部会部会だより発行
事業の取組み	<input type="checkbox"/> 区独自の課題解決に向けた取組み <input type="checkbox"/> 区民との協働を目指した取組み <input type="checkbox"/> 区独自の自然・風土を生かした取組み <input type="checkbox"/> 区民との協働による取組み <input checked="" type="checkbox"/> 区自治協議会が提案する、地域課題の解決に必要となる新たな事業や既存の取組みと連携を図る事業
区ビジョン	<input type="checkbox"/> 豊かな自然と共生するまち <input checked="" type="checkbox"/> 学びあい、健康で、人にやさしいまち <input type="checkbox"/> 都市機能が充実したまち <input type="checkbox"/> 安心安全で暮らしやすいまち <input type="checkbox"/> 活力ある産業のまち <input checked="" type="checkbox"/> その他(区自治協議会提案事業)
事業期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日
関連部会	福祉教育部会
現状・課題・ニーズ(事業実施の前提)	<p>子どもの健やかな成長のためには、保護者が家庭での教育やしつけについて学んでいくことが必要であり、県のニーズ調査によると多くの保護者がその情報を求めている。</p> <p>しかし、一方で子育て世代は多忙で、講演会や勉強会への出席が難しい。</p> <p>また、働き世代の保護者は支え合い、助け合いの地域づくりについての関心が薄い。</p>
目的(何のために)	<p>未就学児から中学生までの子どもをもつ各家庭へ、子育てや、教育、福祉に関する情報を掲載した「福祉教育部会だより」を届け、子どもたちの育つ環境が、子どもたちの心を安定させ、自分を大切にすばかりでなく他人を思いやることのできるようなものとなるよう啓発を促す。</p>
手段(どのようなやり方で)	<p>未就学児、小学生、中学生、各世代に合った保護者向けの便りを作成し、保育園、幼稚園、小中学校などを通じて各家庭に届ける。</p>
期待される事業効果(目的に対して)	<p>子どもたちの健やかな成長のため、子育ての際に大切にしてほしい点や、親としての心構えなどを掲載し、子育てに役立ててもらおう。また、働き世代である若い親世代に、支え合い助け合いの地域づくりに関心を向けてもらえるような働きかけを行うことで、子どもたちがさらに安心して暮らせる地域になる。</p> <p>興味のない保護者への働きかけは非常に難しいが、諦めず、さまざまな形で働きかけ、届けていくことが必要であり、各家庭に届ける「福祉教育部会だより」が、子どもたちが安心できる環境を築く一助となることが期待される。</p>
令和2年度 予定額	700,000円

特色ある区づくり事業計画書

事業名	福島潟賑わい創出		
事業の取組み	<input type="checkbox"/> 区独自の課題解決に向けた取組み <input checked="" type="checkbox"/> 区自然・風土を生かした取組み <input type="checkbox"/> 区民との協働を目指した取組み	<input type="checkbox"/> 区伝統・文化など区が持つ魅力や特性を生かした取組み <input checked="" type="checkbox"/> 区民と協働による取組み <input checked="" type="checkbox"/> 区自治協議会が提案する、地域課題の解決に必要となる新たな事業や既存の取組みとの連携を図る事業	
区ビジョン	<input checked="" type="checkbox"/> 豊かな自然と共生するまち <input type="checkbox"/> 学びあい、健康で、人にやさしいまち	<input type="checkbox"/> 都市機能が充実したまち <input type="checkbox"/> 安心安全で暮らしやすいまち	<input type="checkbox"/> 活力ある産業のまち <input checked="" type="checkbox"/> その他(区自治協議会提案事業)
事業期間	令和2年4月1日 ~ 令和3年3月31日		
関連部会	自然文化部会		
現状・課題・ニーズ (事業実施の前提)	本市の水辺環境の象徴でもある福島潟のラムサール条約登録に向け、区民の理解を深めつつ、機運の醸成を図る必要があるが、条約の理念であるワイズユース(賢明な利用)について、正確な情報が広く伝わっていない。また、福島潟は自然の宝庫であるが、区内外に対してのPRが不足しており、魅力が広く伝わっていない。		
目的 (何のために)	<ul style="list-style-type: none"> ・福島潟のラムサール条約登録に向け、条約の理念等を広く周知し、区民の理解を深めつつ、機運の醸成を図る。 ・福島潟の魅力を区内外に広くPRすることで、賑わいの創出を図る。 		
手段 (どのようなやり方で)	<ul style="list-style-type: none"> ・ラムサール条約啓発パネルの移動展示及びパンフレットの配布。 ・福島潟で環境イベント等を開催する。 		
期待される事業効果 (目的に対して)	<ul style="list-style-type: none"> ・福島潟のラムサール条約登録に向け、区民の理解を深め、機運の醸成に繋げる。 ・福島潟の魅力発信及び、自然環境の保護。 		
令和2年度 予定額	1,500,000円		